

## 言語景観に関する社会言語学的基礎研究

彭 国躍 / 尹 亭仁

今年度は、韓国語の言語景観研究に関して、日本における言語景観を韓国語教育に活用する具体的な方法について取り組んでいる。その一環として横浜駅で撮った基本語彙、とりわけ「東」「西」「南」「北」の方向を表わす単語の提示とその活用を試みている。(詳しくは「ニューズレター2018」を参照) 今後は日本における韓国語の景観、とりわけ上記で取り上げた漢語を中心に活用法を工夫しつつ、授業での学生の反応なども取り入れながら、研究をすすめるつもりである。

中国語の言語景観研究に関しては、「近代上海言語景観の生態学的類型 - ことばの選択、接触とア

イデンティティ」「上海の都市形成期における言語景観」と「百年前頃の上海の言語景観の記述研究」という3つのテーマに関する論文を完成し、現在「消えた上海の歴史言語景観(1) - 閉鎖型店舗の映像データの記録」というテーマの論文について、データの収集作業を行っているところである。

〔成果一覧〕

彭国躍 2017 「上海の都市形成期における言語景観」『神奈川大学 言語研究』 No.40

彭国躍 2017 「百年前頃の上海の言語景観の記述研究」『神奈川大学 人文学研究所報』 第59号